

風水害ハザードマップ

洪水浸水想定区域図 洪水浸水継続時間図 高潮浸水想定区域図

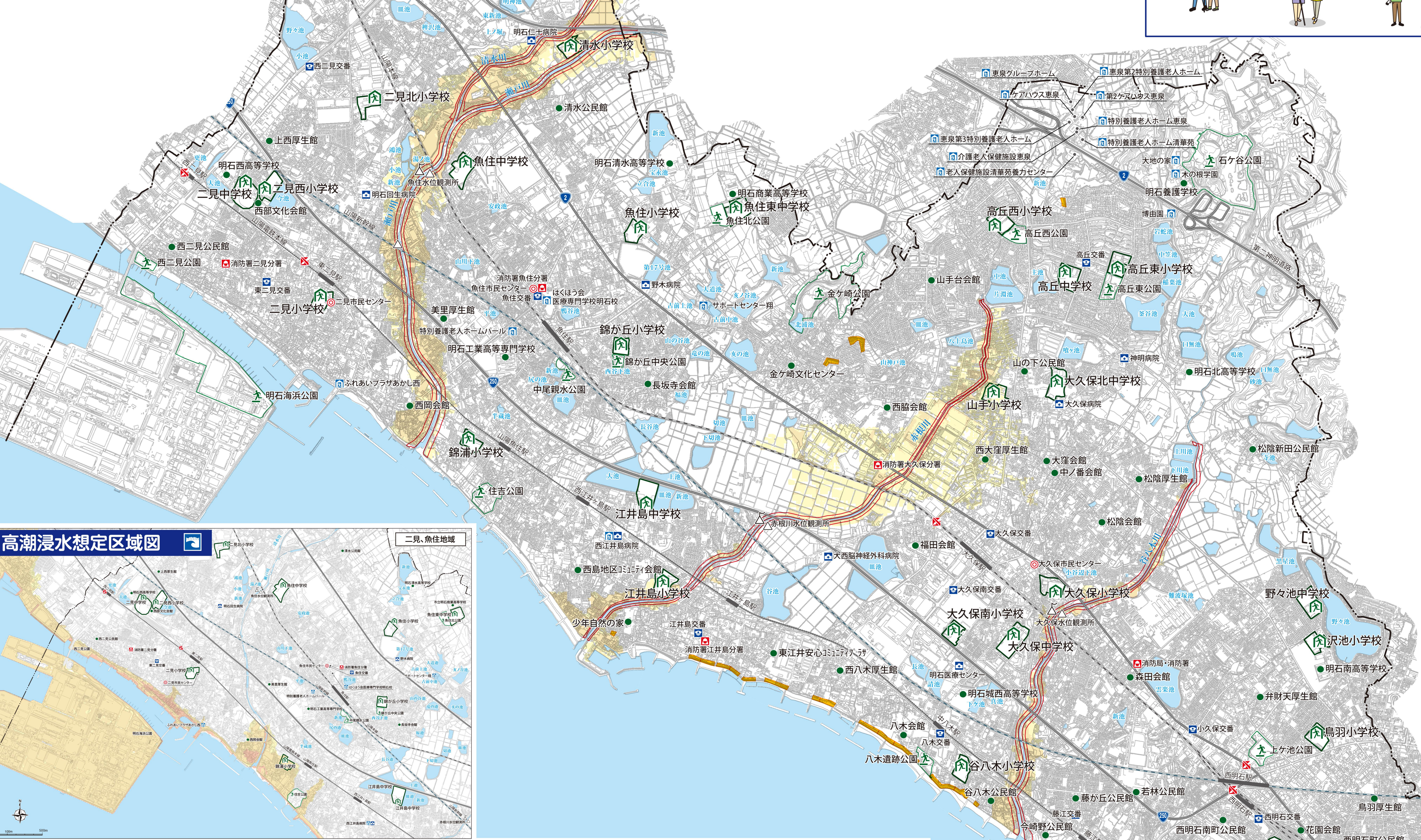
洪水浸水想定区域図

[洪水浸水想定区域]

洪水浸水想定区域は、下記の河川の想定最大規模降雨による浸水想定区域を重ね合わせたものです。

河川名	想定最大規模降雨 雨量条件
朝霧川	朝霧川流域の12時間流域平均総雨量817mm
明石川	明石川流域の4時間流域平均総雨量241mm
谷八木川	谷八木川流域の12時間流域平均総雨量551mm
赤根川	赤根川流域の12時間流域平均総雨量551mm
瀬戸川	瀬戸川流域の12時間流域平均総雨量551mm
喜瀬川	喜瀬川流域の12時間流域平均総雨量551mm

※おおむね1000年に1度(1年の間に発生する確率が1/1000程度)の降雨



高潮浸水想定区域図

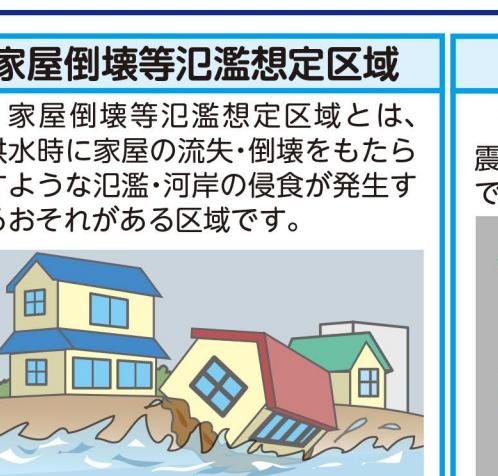
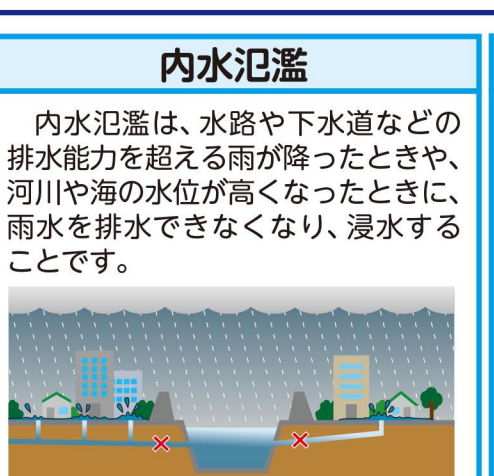
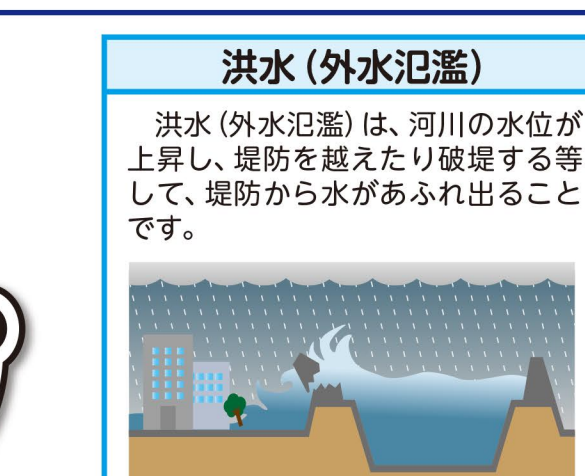


【高潮浸水想定区域】

高潮浸水想定区域は、日本に接近した想定最大規模の高潮による浸水区域や深さを示したものです。
※室戸台風相当の中心気圧(910hPa)、伊勢湾台風相当の半径(75km)・移動速度(時速73km)の台風が、満潮時に潮位偏差が最大となるようなコースで接近することを想定。
※堤防等の全ての防護施設が破壊されることを基本とするなど最悪の事態を想定。

凡例

- 高潮浸水想定区域：最大浸水深
- 5.0～10.0m未満
- 3.0～5.0m未満
- 0.5～3.0m未満
- 0.5m未満



凡例

避難場所	警察
指定避難所(小・中学校等)	主な病院
避難所(公共施設等)	量水標
福祉避難所	水位観測所
帰宅困難者一時滞在施設	アンダーパス・地下道
市役所・市民センター	ため池
消防	

洪水浸水想定区域・最大浸水深

5.0～10.0m未満	家屋倒壊等はん濫想定区域
3.0～5.0m未満	土砂災害特別警戒区域
0.5～3.0m未満	土砂災害警戒区域
0.5m未満	

避難とは

避難とは「命を助け、安全を確保」することであり、市の指定する避難所に行くことだけが避難ではありません。
自分にとって安全な場所を日頃から選んでおきましょう。自宅が安全なら在宅避難も有効です。

避難の方法

立退き避難(水平避難) 危険な場所から離れ、少しでも安全な場所に移動(避難)すること。	屋内安全確保(垂直避難) 建物の2階以上やげ地と反対側の2階以上に移動(避難)すること。
---	--

避難先の候補

- 市が指定した避難所への避難
- 朝職・知人宅の避難
- ホテル・旅館への避難

いざという時は助け合ひましょう

高齢者や障害者、乳幼児、病人などは、災害時に避難行動が遅れがちになります。日頃から、災害時に手助けが必要(避難行動支援者)との関係を築き、自治会、町内会や民生委員・児童委員、福祉専門職等が連携し、地域ぐるみで助け合える体制づくりに取り組みましょう。

大雨時に取るべき行動

防災気象情報(警戒レベル相当情報)	警戒レベル	避難情報など	皆さんがとるべき行動
浸水の情報(河川) 土砂災害の情報(雨)	警戒レベル1		最新情報に注意 ☐ 天気予報を確認 ☐ 家の点検・補修 ☐ 非常持出品や備蓄品の確認 ※ 停電に備えた懐中電灯や水など
早期注意情報			
大雨注意報 洪水注意報 氾濫注意情報	警戒レベル2		ハザードマップなどで避難方法を確認 ☐ 備蓄品などが水浸ししないように安全な場所に置く ☐ あらかじめ避難場所を確認
大雨警報(浸水害) 洪水警報 氾濫警戒情報	警戒レベル3	高齢者等避難(市が発令)	高齢者などは危険な場所から避難 ☐ 高齢者等避難の発令に注意 ☐ 避難場所の開設状況を確認
氾濫危険情報	警戒レベル4	避難指示(市が発令)	危険な場所から全員避難 ☐ 避難指示の発令に注意
大雨特別警報 氾濫発生情報	警戒レベル5	緊急安全確保(市が発令)	命を守る最善の行動をとる

※避難指示などは、地域の状況に応じて発令される情報であり、必ず発令されるものではありません。

避難の心得

浸水が深くなる前に避難を

移動は2人以上で、みんなで助け合って避難を

1人だと、いざというときに助け合えずに。避難するときは隣近所の高齢者や障害のある方に声をかけ、協力して避難しましょう。

避難は動きやすい服装で

長靴やサンダルは危険です。運動靴をはき、両手が自由になるよう持ち物はリュックサックに入れて避難しましょう。

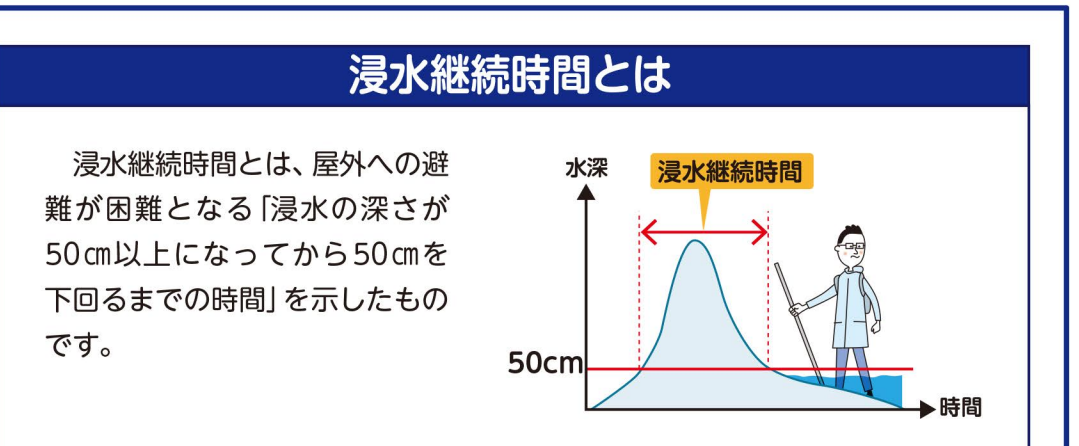
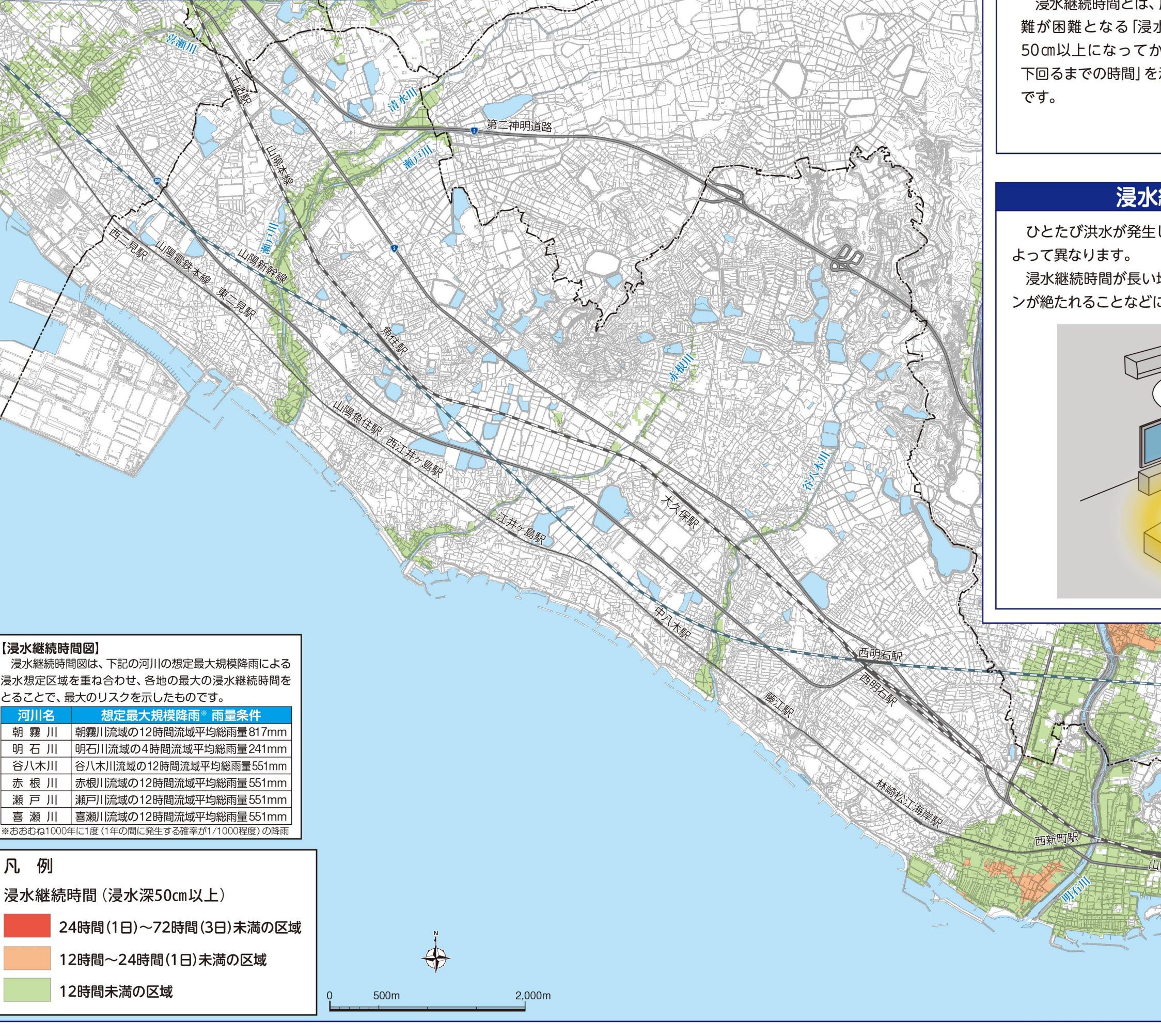
夜の避難は要注意!

夜の避難は周りの状況を確認し、よく、非常に危険です。可能な限り早く避難しましょう。

万が一、逃げ遅れたときは

万が一避難が遅れ、危険が迫ったときは、丈夫な建物の2階以上に避難しましょう。

洪水浸水継続時間図



浸水継続時間が長い地域では

ひとたび洪水が発生してから、水が引くまでの時間は、降雨量や地形などによって異なります。
浸水継続時間が長い地域では、立退き避難を行わなかった場合、ライフラインが断たれることにより避難生活が困難となるおそれがあります。



【浸水継続時間】

浸水継続時間(浸水深50cm以上)

- 24時間(1日)～72時間(3日)未満の区域
- 12時間～24時間(1日)未満の区域
- 12時間未満の区域



急傾斜地の崩壊(かけ崩れ)

「急傾斜地の崩壊」は、大雨などをきっかけに地面にしみ込んだ雨水により急な斜面の土砂が崩れ落ちる現象です。